

【発行】

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会  
東北中国帰国者支援・交流センター  
〒980-0014  
宮城県仙台市青葉区本町3-7-4  
電話：022-263-0948/022-223-1152  
URL：http://www.miyagi-sfk.net/china

# 香菜通信

帰国者支援におきましては、各県によって事情が異なるなか、日々多くの方々にご尽力いただいております。香菜通信第25号では、県独自の取り組みが根付いている秋田県の様子をご紹介します。帰国者の方々のニーズと支援のかたちが上手くマッチし、帰国者の方々に寄り添った支援が行われています。

## 秋田県の活動

### 「高齢帰国者向け日本語教室事業」

秋田県では、平成18年度より、国の補助金を活用して、中国帰国者とその家族を対象に、日本語教室や交流会を行う「高齢帰国者向け日本語教室事業」を実施しています。

#### 事業の目的

- ▶ 帰国者の皆さんが、日本語や日本の生活習慣、文化を学び、自立した生活を送れるようになること
- ▶ 帰国者同士や地域の方たちと相互に交流ができるようになること

#### 日本語教室 (月3回)



日本語教室の様子

会場は、秋田市内の空き店舗。  
授業は、ひとつのテーブルを囲み、雑談も織り交ぜながら和気あいあいとした雰囲気で行われています。



憩いの時間

授業後は、食事をしながら会話をしています。「公民館での授業と違い、他の利用者に気兼ねなく大きな声で話せる!」「時間に縛られなくて良い!」と大変好評です。

#### 交流会 (年12回)

- ・ 日本料理教室
- ・ パソコン教室
- ・ 地域イベントへの参加
- ・ 小旅行 など

楽しみながら日本の文化や生活習慣を学べる内容が充実しています。



ある日の交流会  
「防災講習会」救急蘇生法

日本語教室や交流会に参加している皆さんは、以前に比べて、日本語が話せるようになり、日本での生活にもなじめるようになりました。また、帰国者同士で楽しむ機会や、地域の方たちとふれあう機会が増えたことで、表情がとても明るくなりました。

これらの活動は、秋田県内で日本語教室や中国語教室などの活動を行っているボランティア組織「JCFサークル同路人」に委託して実施しています。このサークルには、日本語講師のほか、料理、手芸、工作、旅行の企画などそれぞれ得意分野を持つスタッフが揃っており、様々な体験ができるよう工夫しています。

スタッフの一人は、この活動について「仲良く学び、喜びを共有できる仲間作りが最終的な目的です。」と話します。

これからも、「JCFサークル同路人」とともに、中国帰国者の皆様に喜んでいただけるような学びと交流の機会を提供しながら、「ふるさと秋田」で心豊かに生活できるようお手伝いしていきたいです。(秋田県健康福祉部福祉政策課)

## 就労コーナー

### 職場見学 7月10日(水)

ポリテクセンター宮城名取実習場(職業訓練校)

熱意のこもった説明に、興味深く耳を傾ける皆さん。

最先端設備と訓練風景を目の当たりにし、「2世3世の若い世代に是非訓練を受けさせたい!」との声が聞かれました。



#### 岩沼市障害者地域就労支援センターひまわりホーム

利用者の皆さんが、一生懸命作業に打ち込む姿や、丹精込めて作った美しい手織り製品に感動!



障害者の自立を支援し、就労へとつなげる施設の重要性や、日本の福祉制度を学びました。

(職業相談員: 今村)

## 職場見学に参加された

### 角張紘さん(宮城県)の感想を紹介します☆

7月10日、私たちはバスで2ヶ所の職場を見学し、そこで沢山のことに感動しました。特に心を動かされたのは、職業訓練校の見学をしたことです。日本での求職は、誰でも努力すれば実技学習と仕事探しができ、自立することができます。私は高齢で対象ではありませんが、子供にはこの情報を伝えたいと思います。もうひとつ、ひまわりホームの屋外作業班に掲示されていた言葉が印象的でした。「毎日元気いっぱい、夢いっぱい、頑張りましょう!」この言葉は私の精神的な糧になりました。

今後も感謝の気持ちを忘れずに努力して、学習型の人生を楽しみ、有益な晩年を送りたいと思います。

## 仕事、がんばっています!

私は、山形市に住む帰国者の2世です。6年前、子供が小学校に上がったと同時に、「自分も仕事をしたい。」と思いました。帰国者自立研修センターを通じて、ホームヘルパー2級の資格が取れる情報を知りました。世話好きの私は、3ヶ月教室に通い資格を取りました。

今では、近くにある老人ホームで、パートとして、子育てをしながら働いています。最初は、言葉の壁で高齢者との交流が大変でした。しかし、先輩職員たちが優しく丁寧にいろいろ教えてくれました。私も、利用者の名前、その人の特徴、好みや接し方、食事、入浴、着替え、排泄など1日の流れと注意点を常にメモしました。わからないことがあったら、すぐそばにいる職員に聞き、その日のうちに消化しました。2ヶ月くらいで自ら動けるようになりました。最近では、レクリエーション活動で中国語講座や手作り餃子など、利用者たちと一緒にを行いました。「ありがとう。楽しかったよ!」と声をかけられ、とても嬉しかったです。

この6年間で、私も人生の大先輩からいろいろなことを学び、日本語も日々上達しています。これからも笑顔で高齢者に役立つ仕事を続けたいです。 Vol.3 奥山明美さん(山形県)



## センター研修会

### 震災の教訓を踏まえた避難所運営(仙台市消防局防災企画課防災計画係の鈴木氏・吉田氏のお話)

3.11以降、仙台市の避難所の運営主体が、「市」から「町内会」へと大きく見直されました。災害時、「可能な方は、すぐに避難所へ行くのではなく、自宅にとどまる」ことも必要です。それには、「日頃の備えや、災害時に自分や家族の身を守ること(自助)・「町内会や隣近所との協力(共助)が大前提となります。日頃から地域との関わりを大切にし、避難所開設時には、多少言葉が通じなくても、ぜひ積極的に避難所運営に関わり、意見を出してほしいとお話いただきました。

## 9~11月の予定

- 9月9日(月) 移動日本語交流会(青森県)
- 9月18日(水) 職場見学  
みちのくミルク株式会社本社工場(宮城県)
- 9月20日(金) 通訳者研修会(山形県)
- 10月2日(水) 東南北ブロック研修会(山形県)
- 10月30日(水) 就労研修会(宮城県)
- 11月5日(火) 東北北ブロック研修会(秋田県)
- 11月(予定) 職場見学
- 11月(予定) 移動日本語交流会(仙台市)

## 後期通学課程受講者募集中!

申込締切り: 9月12日(木)

定員に達しない場合は、締切り後も募集を続けます。お気軽にお問い合わせください。皆さまのお申し込みをお待ちしております (教務主任: 咲間)

編集後記: 旅行が好きで、某社の『旅の指差し会話帳』にはお世話になっていますが、この度、仙台市から、防災アイテムとして『指差し対話集』をご案内いただきました。緊急時に「指を差す」だけで簡単な会話ができるすぐれもの。下記URLからご覧いただけます。『ヘルプカード』と合わせ、ご活用ください。(石黒) 『指差し対話集』 <http://saigai-portal-miyagi.jp/>

